

校長挨拶

岩手県立久慈拓陽支援学校は、昭和54年に久慈養護学校として開校し、平成21年に現在の校名に変更しました。今年度は創立後39年目になり、来年度は40周年を迎えます。



「拓」は、開拓の精神が息づいている侍浜地域に学校があり、北の厳しさや、やませにも負けず、輝く人生を拓いていってほしいとの願いを表しています。また、「陽」は、暖かさがあり、明るさと希望を象徴しています。

開校当時は高等部がありませんでしたが、平成元年に高等部が設置され、今年度は小学部22名、中学部11名、高等部50名、合計83名の児童生徒が在籍しています。また、寄宿舎では通学困難な遠方の寄宿舎生36名が生活しています。

「侍浜は 霧深く 野山をつつみ 海つつみ」

校歌にあるように、この地区には冷害の原因となった「やませ」が吹き、冬になると太平洋沿岸とは思えないほど雪が降りました。しかし、温暖化が進む現在は、むしろ夏は快適で過ごしやすく、冬は校舎に隣接する牧野でスキーやそり遊びができる素晴らしい環境に恵まれています。



地域や学校の特性は、マイナスにもプラスにもとらえることができますが、環境だけでなく、すべてをプラスにとらえて進んで

行こうと思います。

本校では、教育目標にあるように、「児童生徒の障がいの状態や特性に応じた教育実践を通して、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、健康で明るくたくましく生きる人間を育成する」ことを目指しています。全職員が「チーム拓陽」として一丸となって、この目標の実現に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成29年 校長 反町暢夫